

令和2年度 産地創生事業 採択計画の概要（1）

離島の不利を逆手にとった 地産地消型の園芸推進

～隠岐で園芸作物を生産拡大し
効率的な配送によって島内の消費者へ～

隠岐農産物流通促進振興協議会

- 隠岐地域内での需要に基づき、園芸作物の計画的な生産を実施。
- 集出荷施設の整備により、島内配送および島前～島後間輸送を効率化。
- リースハウスを活用して園芸に取り組む新たな複合経営体や新規就農者を継続的に確保。

目標：新規就農者 2名、販売額 1億円



島内産直市の様子



島内での野菜生産

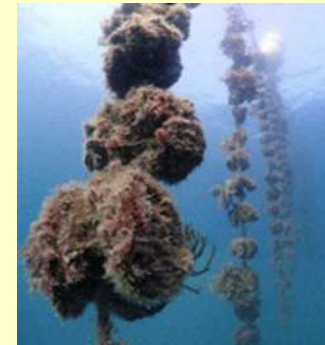
海外輸出を核とした いわがきのブランド力強化

～若い世代にとって
漁業を魅力ある仕事に！～

海士のいわがき「春香」生産者協議会

- 日本一の隠岐いわがきを、香港等の海外へ輸出し、知名度・ブランド力を大幅に向上。
- 海外マーケットで勝ち抜ける品質を確保するための新たな養殖手法を導入（全国初）。
- 漁場管理のICT化で経験、勘に頼らない漁業経営を可能にし、新規就業者を確保。

目標：新規就業者 10名、販売額 3億円



いわがき「春香」の養殖の様子

令和2年度 産地創生事業 採択計画の概要（2）

生協・学校給食との契約取引を核とした 菌床しいたけの周年生産拡大

～「神々の国出雲しいたけ」
一大産地化の展開～

出雲しいたけ産地創生協議会

- 市場主体の販売戦略をアジアへの輸出、生協・学校給食を相手とした契約取引に切り替え
- 夏期栽培推進による周年出荷・生産量増大で量販店等の売り場を年間を通じて確保
- 就農サポート体制構築、リースハウス整備などにより、新規就農者を継続的に確保

目標：新規就農者 20名、販売額 5.3億円



栽培ハウス



ハウス内の菌床しいたけ

加工メーカーや販売事業者等と 一体となって取組む山椒の産地化

～中山間に人を呼び込む仕組みづくり～

雲南市山椒産地づくり協議会

- 確実な需要があるものの生産面で課題の多い山椒をメーカーや販売事業者とともに産地化
- 用途、需要に応じた品種導入や安定生産・省力技術確立、乾燥・選別等の産地体制を確立
- 水田園芸6品目等との組合せで、集落営農法人等の新たな担い手確保

目標：新規栽培 11法人、販売額 1,418万円



栽培の様子



山椒の実

令和2年度 産地創生事業 採択計画の概要 (3)

担い手農業者と町内福祉施設との 協働による物流改善と販路の多角化

～西日本一の夏秋パプリカ産地づくり～

飯南町園芸振興対策協議会

- 全国の量販店に販売網を持つ流通業者等との
契約的取引を拡大
- 集荷拠点への距離的ハンディキャップと
出荷労力不足を福祉施設との連携で克服
- 安定取引の拡大・リースハウス事業の導入など
により新規就農者を継続的に確保

目標:新規就農者 5名、販売額 4,400万円



パプリカ栽培の様子



収穫前のパプリカ

御当地和牛「大田生まれ(子牛)・ 大田育ち(肥育牛)」の首都圏進出

～地域けん引肥育農場を核とした
石見銀山和牛の生産強化～

石見銀山和牛産地拡大協議会

- 市内の大型肥育農場が「石見銀山和牛」を
増頭し、首都圏販路を開拓
- 高能力の次世代繁殖雌牛を地域で増頭し、
大田生まれの子牛の供給力を向上
- リース牛舎を整備して子牛を生産する新規
就農者を継続的に確保

目標:新規就農者 3名、産出額増加 3億円



三瓶山麓での放牧風景と石見銀山和牛肉

県オリジナルぶどう品種 「神紅」による産地化

～神紅による中山間地域の
ひとづくり・ものづくり・まちづくり～

邑南町果樹産地協議会

- 県が開発した「神紅」を核とした新たなぶどう産地をゼロから形成
- 「ここでしか味わえない」邑南町A級グルメとコラボした「ここにしかない商品」を開発。
- ウィークリーマンション型リースハウスにより新規就農者を継続的に確保。

目標:新規就農者 7名、産出額増加 3,540万円



県オリジナル品種「神紅」

